

秋田県立大学 後援会だより

発行／秋田県立大学後援会
〒010-0195 秋田市下新城中野字街道端西241-438
TEL 018-873-5010 FAX 018-872-1670
メールアドレス kouenkai@akita-pu.ac.jp
ホームページ <http://www.akita-pu.ac.jp/gaiyo/kouenkai/index.html>

第35号

発行：平成29年10月



学生自主研究

建築における光と影の効果について

システム科学技術学部 建築環境システム学科 2年

石井 利 弥／工藤 徹
郡司 尚 樹／齊藤 蓮
下嶋 秀 明／菅原 卓 矢

(指導：教授 長谷川兼一)



普段の生活で「明るい」「暗い」と何気なく感じていますが、光を伴った建築空間の表現は多種多様です。いわゆる“巨匠”といわれた建築家たちは、光を巧みに操り、自らの建築表現の一つとして光をデザインしてきました。この学生自主研究のテーマは、建築空間の光が、開口の位置や大きさ、反射の仕方、色などによりどのような様相を示すかを追求したものです。研究メンバー6名が知りたいことについて議論を積み重ね、それぞれ異なるテーマを分担し、実験を計画・実施しました。取り組んだテーマは、「内装と明るさの関係」「金属板と光の反射」「色相が空間に与える印象」「壁面形状が光環境に与える印象」「光による表面温度の変化」「開口部の位置による光の取り入れ方の違い」です。いずれも、感覚的な解釈に陥るのではなく、光の物理量(測光量)を取り入れた客観的な評価がなされており、学生自主研究として極めて質の高い成果を得ることができました。

県産果物を使った果実酒の醸造

生物資源科学部 応用生物科学科 3年

岡田 千 波／佐藤 有里華
柴田 真優子／村山 果 菜

(指導：助 教 伊藤俊彦／准教授 今西弘幸
／教 授 橋爪克己)



果物は秋田県の主要産物の一つです。しかし、昨今の市場では味はもとより、形や色艶といった外見が重視され、自然災害により傷ついた果物の市場価値は下落しています。

そこで、我々は傷ついた果物の付加価値を創出すると共に秋田県産果物をPRする手段として、果実酒をつくることを目指しました。用いる果物は本学が栽培技術の普及に取り組んでいるラズベリーと、台風などの影響を受けやすいリンゴとしました。使用する酵母は秋田で開発された清酒用酵母 AK-1 と日本醸造協会が開発された吟醸用酵母 K1801 を用い、対照としてワイン用酵母 2 種も使用しました。

試醸した果実酒は各種成分分析を行い更に官能評価試験をしました。その結果、いずれの果実酒もラズベリーの爽やかな香りと酸味、リンゴの甘さを有した素晴らしい物になりました。中でも AK-1 を用いた物は酸味と甘味のバランスが良く、吟醸香を含んだ特徴ある素晴らしい物に仕上がりました。

この研究成果が傷ついた果物の価値と秋田産果物の知名度向上につながることで我々の望みです。

カナダ バンクーバー ブリティッシュコロンビア大学 語学留学

長い夏休みを利用して、カナダ ブリティッシュコロンビア大学(※以下 略称 UBC で表記)へ語学留学に参加した佐々木佳音さん(生物環境科学科 2年)と牧廉斗さん(応用生物科学科 2年)に、その貴重な体験談を伺いました。

ブリティッシュコロンビア大学 (The University of British Columbia) とは？

バンクーバー市西側先端に立地。周囲を森と林に囲まれた約 400 ヘクタール (4 平方キロメートル) の広大な敷地に、約 5 万人の学生が学ぶ西部カナダ最大の総合大学。大学世界ランキングにも 30 ~ 40 位以内に常時ランクされている優秀な大学で、これまでに 7 名のノーベル賞受賞者を輩出、3 名のカナダ首相経験者が在籍していた、世界的にも高い評価を受けている大学である。

キャンパス内には人類学博物館、植物園、新渡戸記念庭園等の文化施設が点在している。

◆留学プログラムの内容

～佐々木佳音さん、牧 廉斗さんの体験～

8/27 : 羽田空港より出国し、バンクーバーに到着。

今回のプログラムに参加する友達と日本食を食べてから出発。時差ボケに悩まされつつも、早速滞在先のホストマザーと初対面です。(佐々木)

8/28 : UBC に初登校

イラン、中国、ドイツなど世界各国から参加した学生達と顔合わせしました。(佐々木) クラス分けと、大学見学ツアー、オリエンテーションがありました。(牧)

8/29 : UBC で授業開始

午前は英語の尋ね方、バンクーバーに住む動物の名前等を学び、午後は国際問題に関するトピックをリサーチしました。(牧)

8/30 : 授業・英語での尋ね方について / 国や物事に対する固定観念について考察

TED を視聴。Power Point でまとめ、プレゼンテーションをする課題が出されました(佐々木)(※ TED・・・学術、エンターテインメント、デザイン等様々な分野の人物がプレゼンテーションを行う世界規模の講演会) 午後はチャイナタウンで校外学習をしました。(牧)

8/31 : 授業:UBC 人類学博物館鑑賞。展示物について学習し、説明する課題が出題。

放課後はパシフィックスピリットパークでベストフレンドの Nozo と散策しました。(牧)

9/1 : 午前で授業終了。午後はクラスメイトとヴァンデューッセンボタニカルパーク 散策。

夕食はみんなでカナダスタイルの寿司を食べました。(牧)

9/2 : ダウンタウン周辺を散策。お土産をまとめ買いしました。(佐々木)

学校主催のダウンタウンツアーに参加しました。(牧)

9/3 : 学校主催のツアーに参加し、フェリーで州都 Victoria へ。景観が美しい港町を散策しました。(佐々木)

バンクーバーにある「サイエンスワールド」へ行きました。(牧)

9/4 : 友人とキャピラノサスペンションブリッジパークへ

帰宅後、「今日は祝日だから!」とホストマザーがワッフルを作ってくれました。(佐々木)

9/5 : プレゼンテーション発表日

他の班に比べて文章量が不足していたことを反省。(佐々木) 自分の食生活が持続性に沿っているかどうかを自己採点し、英語文を喋る際のリズム感について学習しました。(牧)

9/6 : Roots on the Roof (学内で農作物を自由に育てる学生団体)のお話を伺う。

午後はグランビルアイランドで課外授業

9/7 : 授業

UBC で行われている食の取り組みについて学びました。(佐々木) 価格や貨幣に関する英語表現の学習と UBC 学生へアンケートを実施。午後は先日の課外授業の成果をまとめて発表。(牧)

9/8 : プレゼンテーション第 2 弾

食にまつわる PowerPoint を作成。前回の反省を生かし、今回は時間が足りなくなるほどの文章量の原稿が完成。(佐々木) 味や食感にまつわる英語表現を学び、先日のアンケートをもとに発表しました。午後の授業がないため、友人と UBC 内の新渡戸稲造記念庭園へ。(牧)



ホストファミリーとの食事 ジョーティさん(左)は日本で働いた経験がある



パシフィックスピリットパークの美しい自然の中で、お互いの情熱を語り合う



週末 Gastown へ



ウィスラー日帰り旅行

9/9 : 冬季オリンピックの開催地、ウィスラーへ日帰り旅行。

9/10 : 友人とロブソン通りでランチ&ショッピング。(佐々木)
バンクーバー水族館に行きました。(牧)

9/11 : 授業

比較級を用いてカナダと各国の物価を比較しました。(佐々木)
テクノロジーに関して自分でトピックを決め、UBCの学生にアンケートに答えてもらい、翌日の発表に向けて結果をまとめました。(牧)

9/12 : 授業

「英語を学ぶ上でハイテク機器は必要か」について討論会をしました。(佐々木)
テクノロジーにまつわる単語を含む熟語を学び、その熟語を用いて寸劇を創り、披露しました。(牧)

9/13 : 授業 : 放課後は友達と中華料理屋にて歓談。

午後はジョブインタビューで用いられる表現や応答の練習をしました。(佐々木)
CBCカナダ放送について、特にリポーターやアナウンサーについて学びました。(牧)

9/14 : CBCバンクーバースタジオを見学

午後は最後のプレゼンテーションを実施。(牧)

9/15 : UBCにてお別れパーティー

仲間や先生たちと最後のランチを楽しみました。(佐々木)
UBCや近くのビーチで友達と一緒に時間を過ごしました。(牧)

9/16 : カナダで過ごす最終日

ホストマザーが空港まで送ってくれました。(佐々木)

9/17 : 羽田空港到着



Farewell lunchにて



<本学から参加したメンバー>左から
南 舞帆さん(アグリビジネス学科2年)
牧 廉斗さん(応用生物科学科2年)
高橋 健史さん(生物資源科学専攻1年)
佐々木佳音さん(生物環境科学科2年)

さ さ き か な 佳 音 さん 体験談

(生物資源科学部 生物環境科学科2年)

私は次の2つの理由からこの留学に参加した。

1つ目がホームステイを経験したかったから、2つ目が多様な国籍の学生と共に学びたかったからだ。ホームステイをしたことで“週に一度の洗濯”や“短時間のシャワー”など現地ならではの生活を体感でき、学校から帰ってから英語を学ぶ機会ができた。

UBCでの授業では、ランダムにペアになったクラスメイトと“4分以上会話をつなげろ”という、母国語であっても難しいアクティビティを毎日おこなった。これにより英語力はもちろんのこと、コミュニケーション力や誰にでもわかりやすく表現するスキルを養った。また課外授業も多く用意されていて、カナダの国営放送のスタジオ見学など、一般の旅行者であればできない体験もできた。休憩時間にも国籍の違う学生と会話することがあり、文化の違いや各々の英語の学習方法についてなど意見を交わしたことがとても興味深かった。英語だけでなくマルチカルチャーについても多くを学ぶことができた、非常に有意義な3週間であった。



ホストマザー、ルームメイトと

ま き れん と 斗 さん 体験談

(生物資源科学部 応用生物科学科2年)

今回のカナダにおける語学研修で、私は人生の宝を得ました。それは、今後の私の英語学習をはじめ、この世界の一員として生きていくうえで大きな支えとなるものです。

この経験を通して私が一番に伝えたいことは、「友人」の存在です。何か挑戦するとき、何かを感じたとき、どんなときにもそれを分かち合う仲間がいることは、取り組み一つ一つの意義や効果を増幅してくれます。それを改めて実感しました。また、言語学習という目的を介して、志高き仲間とともに背中を押しあえる新たな仲間と出会えました。

また、短い期間ではありましたが、バンクーバーという環境の中で過ごせたことは本当に幸運な事でした。多様な文化、生き方、そして美しい自然と都市が共存する空間に触れて、心から自分らしく生きていける自信ができました。すべての出会いに強く感謝しています。

今回の留学の経験で、今後の英語学習の意欲を大いに高めることができました。この思いを胸に、大切な仲間とともに、背中を押しあいながら、これからも切磋琢磨していく所存です。



English Language Instituteでの昼食

◆「新入生ウェルカムミーティング」を開催しました。◆

7/19に秋田キャンパス、8/8に本荘キャンパスにおいて「県大キャンパスミーティング／新入生ウェルカムミーティング」が開催され、今回は、学長・副学長と新入生12名が懇談しました。和やかな雰囲気の中、ランチやスイーツを食べながら、キャンパスライフの近況や将来の夢など、様々な話題で大いに盛り上がりました。

参加した学生からは、「学長・副学長と直接対話・交流することができて貴重な体験となりました!」と大変好評でした。大学では、今後も様々なキャンパスミーティングを企画する予定です。



◆「図書館ブックフェア」を開催しました。◆



昨年度、学生の皆さんから好評を得た「図書館ブックフェア」が、よりグレードアップして開催されました。

7/10、11に秋田キャンパスラーニングcommonsにおいて、丸善雄松堂(株)、(株)加賀谷書店ご協力のもと、約1,000冊の本が展示されました。ラーニングcommonsは図書館でも、飲物持参可能な空間となっているため、飲みものを片手に、じっくりとお気に入りの1冊を探す学生の姿がたくさん見られました。

自分で欲しい本を購入できる他、リクエスト図書として受付もできるため、2日間で約1,100人の学生が参加してくれました。

公開講演会のお知らせ

人工知能はどのようにして「名人」を超えたのか?

講師：山本一成氏

(HEROZ(株)リードエンジニア、愛知学院大学特任准教授、東京大学先端科学技術研究センター客員研究員)



◆日時：平成29年11月25日(土) 14:00~15:30 (90分程度)

◆会場：秋田県立大学 秋田キャンパス講堂

◆入場料：無料(要申し込み)

◆申込方法：ハガキ、インターネット、FAXのいずれかで郵便番号・住所・氏名(フリガナ)・電話番号・職業・性別・年齢・無料送迎バスご利用の有無(コース番号)を、11月21日(火)までにお知らせください。お申し込みいただいた方には入場整理票を郵送いたしますので、記入漏れがないようお願いいたします。定員になり受講できなくなった場合は、その旨をご連絡いたします。

◆コース番号

コース①【行き】12:50発 JR秋田駅東口→秋田県立大学 コース④【帰り】16:00発 秋田県立大学→JR秋田駅東口
 コース②【行き】12:00発 JR羽後本荘駅→秋田県立大学 コース⑤【帰り】16:00発 秋田県立大学→JR羽後本荘駅
 コース③【行き】13:10発 JR追分駅 →秋田県立大学 コース⑥【帰り】16:00発 秋田県立大学→JR追分駅

◆申込・問い合わせ先

1. ハガキでお申し込みの場合

ハガキに『秋田県立大学公開講演会参加申込』と必要事項を明記の上、下記宛に郵送ください。
 (11月21日(火)当日消印有効)
 <〒010-0195 秋田市下新城野字街道端西241-438 秋田県立大学 企画・広報本部宛>

2. インターネットでお申し込みの場合

本学ホームページ<<http://www.akita-pu.ac.jp>>にアクセスし、申込専用フォームに必要事項を入力し送信してください。

3. FAXでお申し込みの場合

FAX申込用紙(※公開講演会リーフレットに掲載)に必要事項を明記の上、FAX:018-872-1670まで送信ください。
 <個人情報の取り扱いについて>申し込みの際にご記入いただいた個人情報は、本学主催の公開講座・公開講演会開催の案内以外の目的で使用することはありません。

4. お問い合わせ先

秋田県立大学 企画・広報本部 TEL018-872-1522

平成29年度 卒業式・修了式開催のお知らせ

平成29年度 秋田県立大学卒業式・修了式を、平成30年3月23日(金)10:00より、秋田キャンパス講堂において開催いたします。

※ 開場、受付時間の詳細や、予定の変更等は学生を通じてご連絡いたします。